



令和7年9月24日

岡谷市長 早出 一真 様

岡谷市公の施設指定管理者選定等審議会
会 長 赤沼 喜市

答 申 書

令和7年8月5日付7企第33号で貴職から諮問されました、岡谷市公の施設の指定管理者選定について、岡谷市公の施設指定管理者選定等審議会（以下「審議会」という。）にて慎重に審議・検討を行い、次のとおり取りまとめましたので答申いたします。

令和 7 年度

岡谷市公の施設指定管理者選定等審議会
答 申 書

岡谷市公の施設指定管理者選定等審議会

令和 7 年 9 月

1 募集の概要

今回の指定管理者の選定に関する、募集の概要及び申請状況は次のとおりとなりました。

対象施設名称	応募	指定期間/指定管理方式	申請団体等
おかや総合福祉センター	任意指定	R8. 4. 1～R13. 3. 31 (5年間) 《精算制》	1 団体
岡谷市勤労青少年ホーム 岡谷市勤労会館	公募	R8. 4. 1～R13. 3. 31 (5年間) 《定額制》	1 団体
岡谷市文化会館	任意指定	R8. 4. 1～R13. 3. 31 (5年間) 《定額制》	1 団体
日本童画美術館	任意指定	R8. 4. 1～R13. 3. 31 (5年間) 《定額制》	1 団体
岡谷市都市公園 ・ 蚕糸公園 ・ 鳥居平やまびこ公園 ・ 岡谷湖畔公園	公募	R8. 4. 1～R13. 3. 31 (5年間) 《定額制》	2 団体
市立岡谷美術考古館	任意指定	R8. 4. 1～R13. 3. 31 (5年間) 《定額制》	1 団体
岡谷市やまびこ国際 スケートセンター	任意指定	R8. 4. 1～R11. 3. 31 (3年間) 《定額制》	1 団体

2 審議の概要

(1) 審議方法

3つの選定基準に基づき、次のとおり審議を行い、審議会として各施設の指定管理者の候補者を選定しました。

3つの選定基準（岡谷市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例 第3条）

① 平等利用の確保

施設の運営について、住民の平等利用を確保できること。

② 施設の有効利用及び経費の縮減

施設の効用を最大限に発揮させるとともに、施設の管理経費の縮減が図られること。

③ 管理の安定性

事業計画書に沿った管理を安定して行うための物的・人的能力を有していること。

① 審議を行った者

審議会委員 5名

② 審議の手順

ア) 事業計画書の事前審査（書類審査）

イ) 申請者によるプレゼンテーション

- り) 申請者に対する質疑・応答
- え) 施設所管課の書類審査結果報告
- わ) 施設所管課に対する質疑・応答
- か) 採点表等の作成（１次審査）
- き) 審議（２次審査）

(2) 審議経過

	日 時	場 所	内 容
第 1 回	8 月 5 日（火） 15:00～16:00	市役所 605 会議室	・ 諮問 ・ 審査方法等
事前 審査	8 月 6 日（水） ～ 9 月 3 日（水）		・ 申請書類の事前審査
第 2 回	8 月 22 日（金） 9 : 00～14:50	市役所 605 会議室	・ 指定管理者の選定
第 3 回	9 月 4 日（木） 9:00～17:30	市役所 605 会議室	・ 指定管理者の選定
第 4 回	9 月 24 日（水） 16:10～17:00	市役所 605 会議室	・ 答申書最終調整 ・ 答申

3 審議会の審議結果

審議の手順に基づき、書類審査及びプレゼンテーション、施設担当課の書類審査結果報告を踏まえ慎重に審議した結果、指定管理者の候補者として適当と認められる団体等は以下のとおりです。

(1) おかや総合福祉センター

①選定候補者

名 称：社会福祉法人 岡谷市社会福祉協議会

所在地：長野県岡谷市長地権現町四丁目 1 1 番 5 0 号

代表者：会長 小口 明則

②採点による結果

項目	配点	委員 5 名	採点
団体の概要	2 0	1 0 0	7 0
経営方針	8	4 0	2 1
施設管理	2 8	1 4 0	7 4
施設運営	2 8	1 4 0	7 8
個人情報	4	2 0	1 2
緊急時対策	4	2 0	1 4

収支予算書	8	40	22
小計	100	500	291
実績評価※	2	10	3
合計	102	510	294

※現在の指定管理に対する実績評価（加点）

③審議による選定理由

（社福）岡谷市社会福祉協議会は、平成15年の開館当初から22年間にわたり当該施設の管理運営に携わり、施設や設備の安全管理について熟知するとともに、運営のノウハウを蓄積しながら安定した管理運営を行ってきた実績がある。

当該施設は、市民福祉の充実と生涯学習を推進する拠点施設であり、当該団体の強みである、地域福祉の向上に資する取り組みを生かした施設管理は、市民が利用しやすい雰囲気づくりや親しみにつながり、市民の憩いの場としての環境づくりに資する取り組みが評価できる。

このことから、（社福）岡谷市社会福祉協議会を候補者として選定する。

【付帯意見】

- ・地域資源である諏訪湖畔の立地を最大限に生かした賑わいの創出に期待したい。
- ・幅広い世代のほか、県内外から人を呼び込むための創意工夫を図られたい。

※他、「共通付帯事項」に記載

（２）岡谷市勤労青少年ホーム・岡谷市勤労会館

①選定候補者

名 称：一般財団法人 諏訪湖勤労者福祉サービスセンター

所在地：長野県岡谷市田中町三丁目7番28号

代表者：理事長 北村 卓也

②採点による結果

項目	配点	委員5名	採点
団体の概要	20	100	69
経営方針	8	40	24
施設管理	28	140	80
施設運営	28	140	78
個人情報	4	20	12
緊急時対策	4	20	12
収支予算書	8	40	28
小計	100	500	303
実績評価※	2	10	3
合計	102	510	306

※現在の指定管理に対する実績評価（加点）

③審議による選定理由

(一財)諏訪湖勤労者福祉サービスセンターは、27年間にわたり当該施設の管理運営に携わり、安定的な管理運営を行ってきた実績がある。

当該施設は、勤労者福祉施設として就業後の余暇時間を様々な世代間交流や異業種交流など有意義に活動するための拠点施設であり、当該法人の活動目的である、勤労者福祉の向上や地域社会の発展に向けた取り組みは、施設の設置目的に合致しており、施設の管理運営への相乗的な効果が見込まれる。

また、これまでも時節を通してメニュー豊富な講座の実施や、自主事業における勤労青少年団体との連携のほか、老朽化に対する迅速な修繕対応など、取組全般に高い評価がある。

このことから、(一財)諏訪湖勤労者福祉サービスセンターを候補者として選定する。

【付帯意見】

- ・施設運営の安全を第一とした体制の確保に努めていただきたい。
- ・比較的利用者の少ない日中や、新規の利用者確保に向けた取り組みに期待する。
- ・市が取り組む公共施設のあり方検討について、施設機能や利用実態を整理しながら計画的に進めていただきたい。

※他、「共通付帯事項」に記載

(3) 岡谷市文化会館

①選定候補者

名 称：公益財団法人 おかや文化振興事業団

所在地：長野県岡谷市幸町8番1号

代表者：理事長 岩垂 俊男

②採点による結果

項目	配点	委員5名	採点
団体の概要	20	100	66
経営方針	8	40	20
施設管理	28	140	75
施設運営	28	140	86
個人情報	4	20	11
緊急時対策	4	20	11
収支予算書	8	40	15
小計	100	500	284
実績評価※	2	10	1
合計	102	510	285

※現在の指定管理に対する実績評価（加点）

③審議による選定理由

（公財）おかや文化振興事業団は、平成元年の開館以降36年間にわたり当該施設の管理運営に携わり、安定的な管理運営を行ってきた実績がある。

当該施設は、文化・芸術の振興拠点であり、当該法人の活動目的とする優れた文化芸術の提供、創造、発信に関する事業を実施していくにあたり、当該施設の管理運営によって魅力ある企画や作品など幅広く鑑賞機会を提供することで、文化の振興と市民福祉の増進に寄与している。

また、自主事業では人気アーティストをはじめとする主催公演や、市民が制作に関わる市民参加型事業のほか、次世代の育成事業など地域に根差した事業展開は長年の活動ノウハウの積み重ねによるものと評価している。

このことから、（公財）おかや文化振興事業団を候補者として選定する。

【付帯意見】

- ・自主事業の実績（収支状況）からすると法人としての企業努力に努めてほしい。
- ・チケット購入環境の改善に取り組まれているが、会員割引チケットについてもオンライン購入の環境構築について検討いただき、利便性を高めることで来場者の拡大に努めてほしい。

※他、「共通付帯事項」に記載

（４）日本童画美術館

①選定候補者

名 称：公益財団法人 おかや文化振興事業団

所在地：長野県岡谷市幸町8番1号

代表者：理事長 岩垂 俊男

②採点による結果

項目	配点	委員5名	採点
団体の概要	20	100	70
経営方針	8	40	23
施設管理	28	140	77
施設運営	28	140	91
個人情報	4	20	10
緊急時対策	4	20	10
収支予算書	8	40	19
小計	100	500	300
実績評価※	2	10	5
合計	102	510	305

※現在の指定管理に対する実績評価（加点）

③審議による選定理由

(公財) おかや文化振興事業団は、平成10年の開館以降27年間にわたり当該施設の管理運営に携わり、安定的な管理運営を行ってきた実績がある。

また、岡谷市が誇る地域資源のひとつである武井武雄の童画精神を広く周知するために、核となる調査・研究に重きを置きつつ、その成果を全国に向けて効果的にPRすることで、武井武雄の魅力や価値を上げるとともに、当該施設の知名度向上につながっている。

さらに、教育機関との連携による園児や小学生に対する芸術教育、施設周辺店舗など地域と連携したイベント実施による賑わい創出により地域を巻き込んだ取り組みは高く評価できる。

限られた財源のなかではあるが、更なる創意工夫により充実した事業の実施や来館者の確保に向けた取り組みを期待する。

このことから、(公財) おかや文化振興事業団を候補者として選定する。

【付帯意見】

※「共通付帯事項」に記載

(5) 岡谷市都市公園（蚕糸公園・鳥居平やまびこ公園・岡谷湖畔公園）

①選定候補者

名 称：株式会社 やまびこスケートの森

所在地：長野県岡谷市字内山4769番14

代表者：代表取締役社長 中島 政春

②採点による結果

項目	配点	委員5名	採点	
			選定候補者	A団体
団体の概要	20	100	55	60
経営方針	8	40	29	20
施設管理	28	140	77	73
施設運営	28	140	84	76
個人情報	4	20	10	12
緊急時対策	4	20	9	13
収支予算書	8	40	23	17
小計	100	500	287	271
実績評価※	2	10		0
合計	102	510	287	271

※現在の市内公共施設の指定管理を行っている実績評価（加点）

③審議による選定理由

当該施設の募集に対し2団体から応募があり、採点結果では上記のとおり（株）やまびこスケートの森が最高点となった。

(株)やまびこスケートの森は、これまでに指定管理施設の管理運営経験が豊富であり、安定的かつ効率的な管理運営に資するノウハウを有している。

また、当該法人は健康増進やスポーツの振興による事業展開により幅広い年齢層への健康づくりを推進しており、仕様書に基づく事業提案においては、当該法人の強みを生かしながら各公園の特性を捉えた様々な事業が計画されており、公園の新たな魅力向上に資する事業展開が期待できる。

3つの公園施設については、それぞれの立地を効果的に活用することで、市民の憩いの場であることは勿論のこと、県内外から人が訪れる場所として可能性を秘めており、新たな視点による公園施設の可能性を最大限に活かすことで、移住定住や関係人口の拡大、まちの賑わい創出に大きく寄与するものと期待する。

審議において、2団体ともにそれぞれ評価できる提案内容であったが、採点結果や審査項目に対する評価を踏まえ、(株)やまびこスケートの森を候補者として選定する。

【付帯意見】

- ・次期の管理運営に支障が生じないよう、業務引継ぎにおいて適正な処理をお願いしたい。

※他、「共通付帯事項」に記載

(6) 市立岡谷美術考古館

①選定候補者

名 称：公益財団法人 おかや文化振興事業団

所在地：長野県岡谷市幸町8番1号

代表者：理事長 岩垂 俊男

②採点による結果

項目	配点	委員5名	採点
団体の概要	20	100	72
経営方針	8	40	24
施設管理	28	140	74
施設運営	28	140	74
個人情報	4	20	10
緊急時対策	4	20	10
収支予算書	8	40	24
合計	100	500	288

③審議による選定理由

新たに指定管理者制度を導入する当該施設は、文化・芸術の振興拠点として学びの場を提供する教育施設であり、候補者である（公財）おかや文化振興事業団は、優れた文化芸術の提供、創造、発信を活動目的としていることから、当該施設においても安定的な管理運営が見込まれる。

また、当該法人は類似施設である日本童画美術館の管理運営を行ってきた実績もあることから、近隣に立地する両館の効果的な連携を図ることで賑わい創出に向けた相乗効果が期待できる。

事業計画では、専門人材の適正配置や経費削減が図られており、管理運営のノウハウを最大限に活かした事業提案が示されていることから、計画内容の実行性を確保することで、より魅力度が向上し、来館者の増加につながることを期待する。

このことから、(公財) おかや文化振興事業団を候補者として選定する。

【付帯意見】

- ・新たに指定管理者制度の導入を契機に、入館しやすい雰囲気づくりや作品の見やすさなど、細部の改善にも気を配ることで、新たな市立岡谷美術考古館としての管理運営を期待する。

※他、「共通付帯事項」に記載

(7) 岡谷市やまびこ国際スケートセンター

①選定候補者

名 称：株式会社 やまびこスケートの森

所在地：長野県岡谷市字内山4769番14

代表者：代表取締役社長 中島 政春

②採点による結果

項目	配点	委員5名	採点
団体の概要	20	100	61
経営方針	8	40	22
施設管理	28	140	81
施設運営	28	140	75
個人情報	4	20	11
緊急時対策	4	20	11
収支予算書	8	40	19
小計	100	500	280
実績評価※	2	10	1
合計	102	510	281

※現在の指定管理に対する実績評価（加点）

③審議による選定理由

(株) やまびこスケートの森は、平成6年の開設当初から31年間にわたり施設の管理運営に携わり、施設や設備の細部に至るところまで熟知することで、安全で安心な管理運営を行ってきた実績がある。

当該法人は、岡谷市が進めるスケートのまちづくりの推進役として、市民の健康や体力の維持・向上に向けた様々な事業を展開しており、近隣に立地し、当該法人が運営するやまびこの森アイスアリーナとの相乗効果によりスケート文化の発展に寄与している。

また、自主事業をはじめとした幅広い世代へのスケート体験機会の提供や、各種団体と連携した競技者育成支援など施設利用者拡大に向けた取り組みは評価できる。

このことから、(株)やまびこスケートの森を候補者として選定する。

【付帯意見】

- ・スケート人口が減少傾向にある一方で、施設の維持管理費は物価高騰等を背景に増加しており、施設維持の難しさを感じられる。施設のあり方検討についても、周辺自治体との連携を踏まえながら、計画的な検討を進めていただきたい。
- ・施設利用や経費縮減に関し、企業としての営業努力と経営手腕の発揮に期待する。
- ・運営母体としての経営努力に努めていただきたい。

※他、「共通付帯事項」に記載

共通付帯事項

- ・各施設ともに建築から一定年数が経過しており、施設や設備の老朽化への懸念があるが、施設利用において安全・安心が第一に求められることから、改修や修繕等においては市との協議により計画的な対応を希望する。
- ・各施設ともに岡谷市の貴重な地域資源であり、施設の魅力を市民のほか県内外に広く発信することが重要であることから、SNS等を活用した効果的な情報発信と利用拡大を期待する。

【参考資料】

指定管理者の選定に関する採点表

●審査対象

審査対象施設	対象施設名
審査対象事業者	

●3つの選定基準

① 平等利用の確保	公の施設の運営について、住民の平等利用を確保できること
② 施設の有効利用及び経費の縮減	施設の効用を最大限に発揮させるとともに、施設の管理経費の縮減が図られること
③ 管理の安定性	事業計画書に沿った管理を安定して行うための物的・人的能力を有していること

●審査項目

1) 採点

該当する項目に○

※特に優れている：特筆すべき事項がある場合
該当なし：要件を満たさない場合

事業計画書の項目			着眼点	選定基準	特に優れている	優れている	普通	劣っている	該当なし
団体の概要	1-(1)	設立年月日 資本金 従業員等の数 団体の組織図 決算等の状況	施設運営を適切に行う能力はあるか。 経営・財務状況は健全か。	③	4	3	2	1	0
		団体の理念・経営方針	団体の理念（経営方針等）は明確に示されているか。	①	4	3	2	1	0
		事業内容	施設運営を適切に行う能力はあるか。 運営状況は適正か。	③	4	3	2	1	0
	1-(2)	今回の申請理由	団体の経営理念や、公の施設の設置目的に沿った内容であるか。	①	4	3	2	1	0
	1-(3)	類似施設の管理運営実績	同種の施設の管理運営実績はどの程度あるか。	③	4	3	2	1	0
経営方針	2-(1)	基本方針	施設の設置目的を十分に理解し、公平・公正性が確保されているか。	①	4	3	2	1	0
	2-(2)	経費の縮減策	具体的な経費の縮減策であるか。 無理な縮減策ではないか。	②	4	3	2	1	0
施設管理	3-(1)	職員の配置計画及び採用計画	施設の管理運営を適切に行うことができる体制か。	③	4	3	2	1	0
			採用計画に無理はないか。 地元雇用対策の計画はあるか。	③	4	3	2	1	0
	3-(2)	有資格者等の配置計画	有資格者などの配置は適切か。	③	4	3	2	1	0
	3-(3)	職員の研修計画	施設の適切な管理運営につながる、具体的な研修計画であるか。	③	4	3	2	1	0
	3-(4)	施設の維持管理計画	管理経費の縮減が図られる内容であるか。	③	4	3	2	1	0
			施設の日常的な安全確保が図られる内容であるか。	③	4	3	2	1	0
			第三者に行わせる業務（再委託する業務）の範囲は適切か。	③	4	3	2	1	0

施設運営	4-(1)	住民の平等利用の確保対策	市民の平等な利用が見込めるか。	①	4	3	2	1	0
	4-(2)	サービス向上対策	具体的に利用者サービスの向上につながる、実施可能な内容であるか。	②	4	3	2	1	0
	4-(3)	利用者の要望の把握及び実現対策	利用者の要望の把握・苦情の処理に対する具体的な方策であるか。	①	4	3	2	1	0
	4-(4)	自主事業計画の内容	積極性・創意工夫が見られる内容であるか。 具体的で実施可能な内容であるか。	②	4	3	2	1	0
		(選択事項)	地域住民・利用者のニーズを反映した内容であるか。	②	4	3	2	1	0
		(選択事項)	事業の対象として様々な年齢層を想定し、世代間交流を取り入れているか。	②	4	3	2	1	0
		(選択事項)	施設の特性を生かしたサービスの向上につながる内容か。	②	4	3	2	1	0
		(選択事項)	その他、担当課として記載したい事項	②	4	3	2	1	0
個人情報	4-(5)	地域、他施設との連携	市・地域・他施設と連携・協力について、具体的な方法が示されているか。	①	4	3	2	1	0
	4-(6) 4-(7)	施設の運営計画	創意工夫が見られる具体的な内容であるか。施設の利用者を増やすための適切な取り組みが示されているか。具体的な目標値が設定されているか。	②	4	3	2	1	0
	5-(1)	個人情報の保護措置	具体的な措置（個人情報記載書類・端末の管理方法等）が示されているか。個人情報保護規定があるか。	③	4	3	2	1	0
緊急時対策	6-(1) 6-(2)	防犯、防災の対応 その他、緊急時の対応	防犯・防災体制の整備および対策が適切に計画されているか。 防犯・防災訓練の実施を計画しているか。 緊急時の連絡体制を定めているか。	③	4	3	2	1	0
収支予算書	—	予算（収入）	適正な予算見積りに基づく現実的な収入見込みであるか。	②	4	3	2	1	0
	—	予算（支出）	適正な予算見積りに基づく現実的な支出見込みであるか。支出の抑制を図っているか。	②	4	3	2	1	0
事業計画書の項目			着眼点	選定基準	特に優れている	優れている	普通	劣っている	特に劣っている
評価	—	管理・運営	施設の計画的な安全管理及び創意工夫により利用者サービスの向上につながる施設運営がされているか。	—	2	1	0	-1	-2
総合点					点				

○採点に関する判断基準

委員1人の得点50点及び委員5名の得点250点を平均ライン（50％）とし、以下のいずれかに該当した場合は、評価に値する採点であると判断する。

- (1) 1人あたり50点以上の得点が3名以上（審議会委員5名のうち過半数以上）であること。
- (2) 全委員の合計得点が250点以上であること。

